

2025年大阪・関西万博 サンマリノ館

地平線を広げる



SAN MARINO
サンマリノ



EXPO 2025
OSAKA

視野を広げ、新たな地平を切り開くことは、好奇心旺盛な人間のDNAに刻まれた本能です。

私たちがどのように自らを世界に表現するのか、その旅に是非ご参加ください。



パビリオン計画



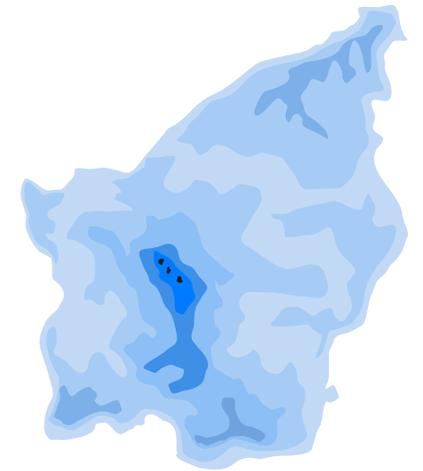
何が分かるか



プロジェクトの始まり

山を登ると視界が広がり、地平線が象徴的に拡大展開します。高い所から眺めると、サンマリノ共和国とその周辺エリアの多様な地域性が理解でき、視野を広げることができます。

パビリオンは、サンマリノ共和国の独特な地形から着想を得て、この小国の中央部に広がる丘や山頂を盛り込んでいくところが特徴です。この地域で最も重要な山脈であるティターノ山にポジションを取り、周囲の土地を広々と見渡せる壮大なパノラマビューを堪能することができます。ティターノ山脈は、ティターノ山、フラッタ山、チェレット山という主に3つの山頂から形成されています。全てのエレメントがつながっているパビリオンの展示で、サンマリノ共和国の団結と結束を感じ取れる没入型体験を体験することができます。



展示コース

全てのエレメントがつながっているパビリオンの展示で、サンマリノ共和国の団結と結束を感じ取れる没入型体験を体験することができます。

歴史の授業

サンマリノの生涯に関する最古の写本で、ユネスコ「世界の記憶」の登録候補となっている古文書が、2025年大阪・関西万博で展示されます。

山を感じる
パビリオンでは、スケールの大きい石工伝統を支えている地元の石であるティターノ山の砂岩に触れることができます。

日常の音を聞く
パビリオン内に足を踏み入れると、地元実際に足を踏み入れたような感覚を蘇らせる活気あるコミュニティの音と香りが広がります。

地平線を眺める
歴史的中心街にある唯一無二のスポットや、知る人ぞ知る散策路を覗いてみてください。日が暮れるまで、私たちが一緒に暮らします。

『Vita Sancti Marini』は、サンマリノという人物の生涯について書かれた書物で、サンマリノで発見された最古の写本です。この書物は、3世紀末から4世紀初頭にかけて、石工師であったマリノが、クロアチアのラブ島（イタリア語で現在のアルベ）からイタリア半島北部のアドリア海沿岸、ローマ帝国時代の都市だったアリミヌム（リミニ）近くの海岸にかけて、ずっと巡遊した身体的で精神的な旅を語っています。最後には、彼はティターノ山に定住するのですが、そこが現在のサンマリノとなりました。この作品は、トリノ国立大学図書館に原本が保存されている限定版書物で、この度、サンマリノ館内で展示される予定です。

ご訪問後、パビリオン入口前にあるショップで、サンマリノの地元の職人による工芸品を購入することができます。



サンマリノ共和国をもっと知ろう



サンマリノ共和国は、南ヨーロッパにある小国で、アドリア海を見下ろす場所に位置しています。四方八方イタリアに囲まれている世界最古の立憲共和国です。その伝統的設立日は、紀元301年9月3日とされています。

Pavilion
CS2



フォローする

@sanmarinoexpo   

sanmarinoexpo.com

お問い合わせ

info.expo@gov.sm



SAN MARINO GENERAL
COMMISSIONER'S OFFICE
FOR EXPO 2025 OSAKA



OSAKA KANSAI JAPAN
EXPO
2025



SAN MARINO
サンマリノ
EXPO 2025
OSAKA

OFFICIAL PARTICIPANT